

# 人と自然を繋ぐ公園の設計

仙台第三高等学校B1班

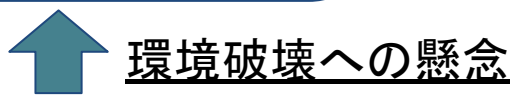


## <探究の背景・内容・仮説>

人々に身近な「公園」という物を通し、**人と自然の距離感**というものに着目して、公園のデザインを提案することを目標にしている。  
大堤公園の事例をもとに、公園のデザインを考える。

### 公園課

- ・土砂で沼を埋め立てる
- ・東西縦貫通路の設置



### 住民

- ・大堤公園をビオトープ化

→計画は停滞 **今もなお荒れている状態**  
[1][2][3][4]

大堤公園の自然的特色や地形的特色を活かし、道に着目した設計を考察していく。

## <まとめ>

今後も地域の方々や、専門家の方々の意見をいただきながら、地域の自然を最大限活かし、**人と自然を結びつける架け橋になるような公園のデザイン**を考えてきました。

## <調査の方法>

- フィールドワーク→植生や地形的特徴の調査
- 地域の方々や専門家の方々に話を伺う
- 大堤公園と似た公園との比較→課題の発見

## <公園の設計>

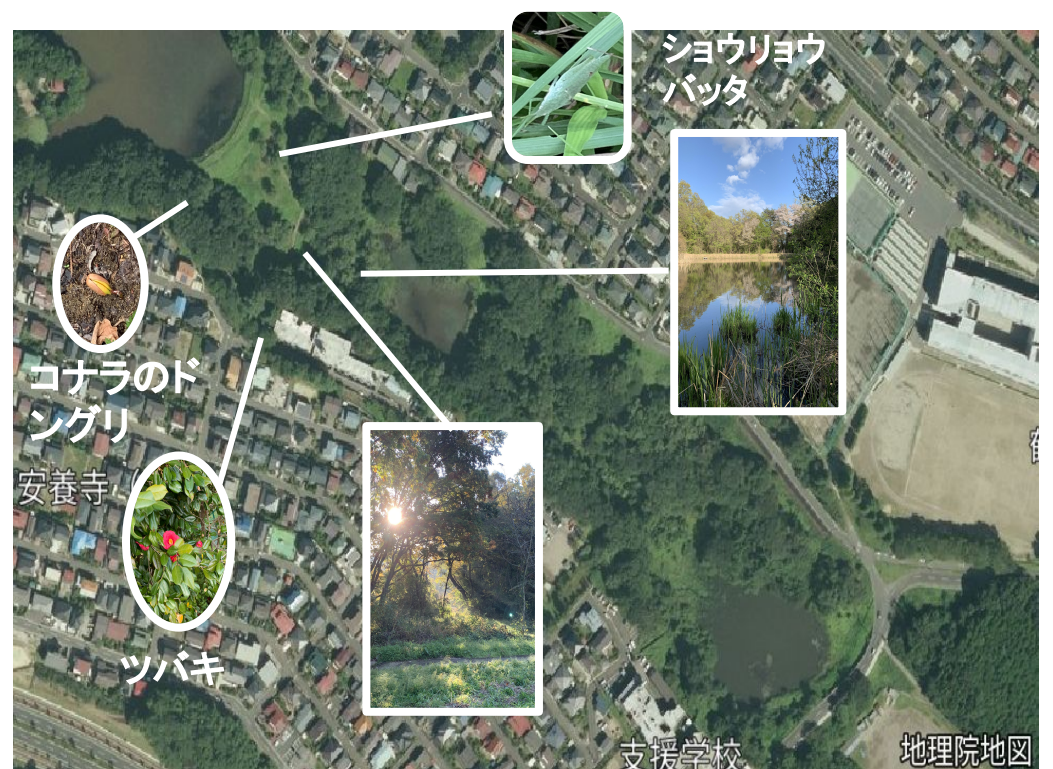
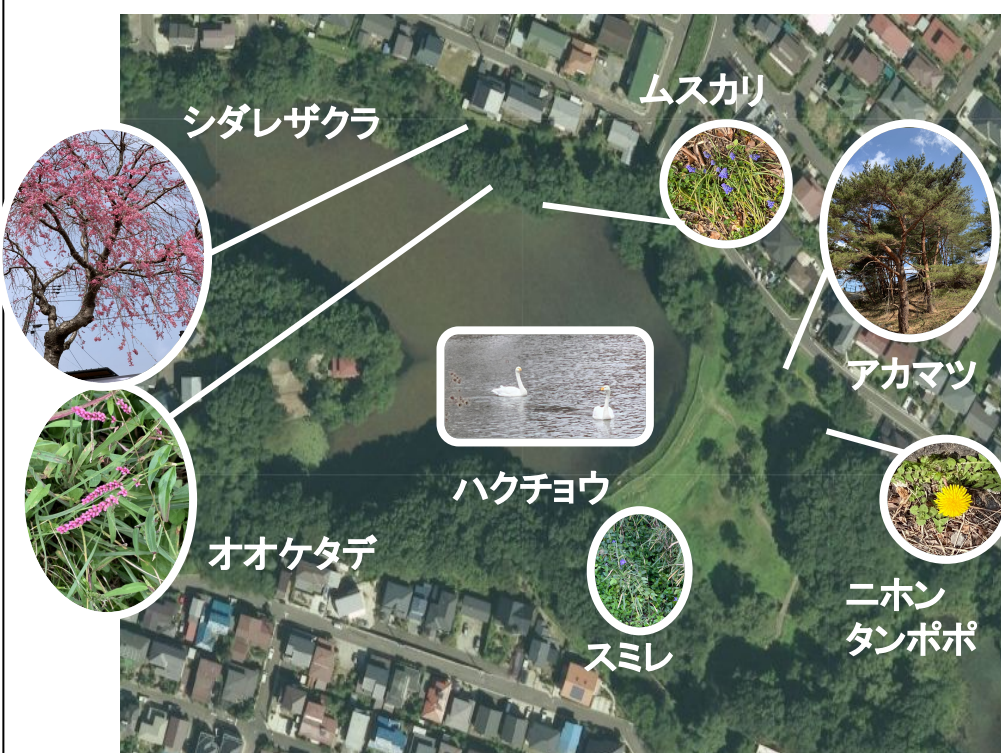
このQRコードを読み取ると公園設計を見ることができます。



## <調査の結果・考察>

～フィールドワークを通して～

春から秋にかけて様々な植物が見られる。  
公園の周りには樹木、沼周辺には地上植物が多い。  
水辺に野鳥も見られる。



～他の公園との比較して～

大堤公園には管理や安全性の面でも道の整備は必要。

## <参考文献>

- ・ [1] 過去の河北新報
- ・ [2] 環境影響評価事前調査書
- ・ [3] 整備事業概要図
- ・ [4] これまでの大堤公園の調査書
- ・ [5] 「生き物としての力を取り戻す50の自然体験」 カシオペア計算機株式会社/株式会社Surface&Architecture